



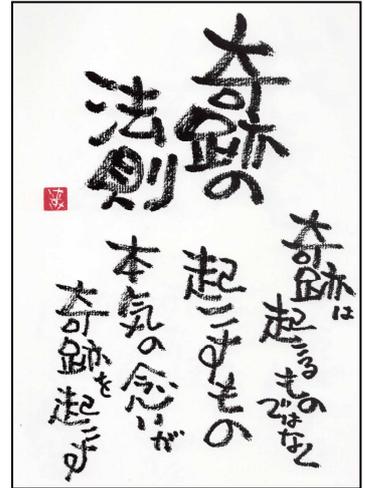
第18号 2021年2月9日  
西朝明中学校第2学年  
担当 大西 修一

## 「+10(プラステン)プロジェクト」を始めました。

セミナー学習を開始して1週間がたちました。どのクラスもピリツと引き締まった雰囲気を取り組んでいます。家でやったプリントの提出もほぼ100%。皆さんの真剣さがひしひしと伝わってきています。

ただ、2週目に入った2/8(月)、緊張感が薄れてきたのかファイルの提出を忘れる人がちらほら出てきました。何事も最初が肝心。気が抜けるのはまだまだ早い。気持ちを途切れさせることなく頑張ってください。

セミナーは回を追うごとに少しずつ内容が難しくなっていきます。「1年生のころにした内容って全然覚えてない」という声も聞かれます。だからこそセミナーを始めました。避けずに立ち向かい、しっかり基礎固めをしていきましょう。「続ける」ことこそが最も大変で最も力の付く方法です。頑張ろう、2年生！！



「夢が叶う日めくり」 大嶋啓介 著 より

さて、先週末には3学期の最初に行った実力テストの結果を返却しました。定期テストに比べ、出題範囲が大変広いこともあってか、学年全体としてずいぶん厳しい結果となりました。忘れてしまっている事が予想以上に多く、危機感を持った人がたくさんいたと思います。中でも数学の結果が特に気になりました。数学の計算や関数などは理科の内容と重なる部分が多く、今回の出題内容の理解が不十分なことで今後の学習に大きく影響することが心配されます。

そこで「数学の力の底上げ」を目的に、今週月曜から「+10 プロジェクト」を始めました。このプロジェクトは、今まで行っていた「10分間の朝の読書」の代わりに、一人1台配備されたタブレットパソコンを使い、AI搭載の数学学習ソフト「Qubena」(キューベナ)を使って中学1年生の最初から復習をしていく取り組みです。



この「Qubena」は、その人の解答の結果に応じて次々に問題が自動で選択・出題され、解説やヒントも表示されます。繰り返し間違えると、場合によっては小学校の内容まで戻って出題されます。正解が続くと難易度が上がって出題されます。このように個々の力量に応じて出題される学習ソフトを使っの「朝の10分間学習」が「+10 プロジェクト」なのです。

「+10 プロジェクト」という名前は、「朝、+10分の学習で、全員が今より+10点を目指す」という思いを込めて名付けました。

1日10分ですが、1週間で授業1回分、1ヶ月で4回分、10ヶ月で授業40回分と相当な量の学習になります。このチャンスをどう生かすかは、あなた達の気持ち次第。

目指す進路をかなえるために、「今できることは全部やる！」という強い気持ちを持って取り組んでいきましょう。